

Autodesk Vault教育 ファイル管理



cyber ace



ファイル管理

Vaultの基本操作教育を行い、Vaultによるファイル管理の基礎を学習します。

■概要

Vault基礎教育

※Vaultサーバー導入に関しましては、別途ご相談ください。

■教育所要日数

2日

■対象者

Inventorを利用される機械設計実務者の方
Inventor基礎教育を修了している方

■開催場所

貴社内・CAD設置場所

※教育は弊社テキストを使用します。

ファイル管理概要

Inventorでファイルを管理する方法として、Vaultが挙げられます。

Vaultを使用する事で、多人数での設計をサポートし、重複して図面改訂を行ってしまうなどのミスを削減します。

本項では、その基本的な操作方法について学習します。



cyber ace

Vaultサーバ導入について

- 多人数設計を行う場合、または流用設計が多く発生する場合はVaultを使用したファイル管理を推奨します。
Vaultを使用する事でファイルのバージョン管理が容易にでき、また、設計者が同時に同じモデルに対して変更を行ってしまうトラブルを防ぐことができます。

特別な場合を除き、Vaultの導入には専用のVaultサーバを使用する事を推奨します。

※Vaultサーバ導入に関しましては、別途コンサルティングをご用意しております。
Vaultサーバ導入から、ファイル管理の社内規則など、お客様の環境に特化した内容にてご提案いたします。
弊社営業まで、ご相談ください。



Cyber Ace

Vaultサーバスペック評価

レベル	構成	概要	懸念
1	SQL Server 2005 Express Windows XP Professional SP2	Inventorをインストールしている PCをサーバとして兼用	Vault当たり容量4GB 接続台数が10台に制限される。 PCの動作が重くなる
2	SQL Server 2005 WorkGroup Windows XP Professional SP2	レベル1と同様構成。 但し、SQLサーバーは製品版	接続台数が10台に制限される。 サーバにしているPCが重くなる。
3	SQL Server 2005 Express Windows 2003 Server	サーバ専用機を購入 HDDのRAID構成なし	Vault当たり容量4GB HDDが1台の為、保守の面で不安有
4	SQL Server 2005 Standard Windows 2003 Server	サーバ専用機・SQL Serverを購入 HDDはRAID構成なし	HDDが1台の為、保守の面で不安有
5	SQL Server 2005 Standard Windows 2003 Server	サーバ専用機を導入 HDDはRAID0で構成	HDDのコストが高い

※赤のライン以下の構成が推奨となります。



Cyber ace

Vault基礎教育

- Vaultの基本的な操作を学習します。
 - Vault基本概念
 - ファイルの追加
 - 排他処理
 - チェックイン
 - チェックアウト
 - バージョン管理
 - 過去の状態に戻す
 - ファイルの検索

